

実践記録（小3・社会）

1 ねらい

意見交流を通して、友達のを考えを取り入れて自分の考えをよりよくすることができるようにする。

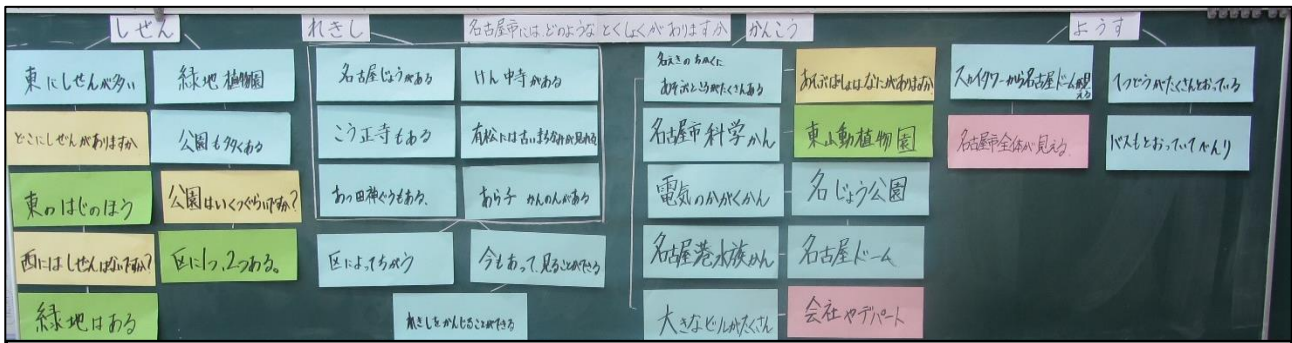
2 手立て

次のような手順で、情報を交流することにより、自分の考えをよりよくする。

(1) 名古屋の特色に関連する情報を調べ、自分の考えを書く。(最初の考え)

(2) 賛成意見は青、質問は黄、質問に対する答えは緑、反対意見は赤の短冊に書いて交流する。また、どの短冊に対して交流がされているのか線で結ぶ。(資料1)

(3) 短冊を使った交流から、自分の考えに取り入れる意見を選び、名古屋の特色をもう一度考え直す。(交流後の考え)

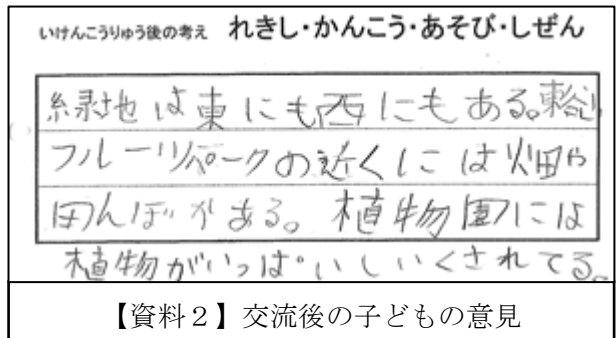


【資料1】 交流後の板書

3 実践の様子

本時では、名古屋市を特色を考える活動で、絵地図からわかる施設の特長について調べたことを基に意見交流を行った。まず、自然、歴史、観光、様子の4観点にしぼり、それぞれの特色を発表させ、それをイメージマップにして黒板にまとめた。自然という観点では、「東部に、自然がある」という意見に対して、「西には自然がないのか」という質問があった。その質問に対して、「戸田川緑地がある」「他のところにも公園がある」と前の人の話を受けて発表した。また、歴史の観点では、神社やお寺が数多く発表されたことにより、「今も見ることができる」「歴史を感じるができる」と名古屋の歴史的価値に注目する意見に深めることができた。

意見交流が終わった後は、黒板を見て、名古屋の特色を再考する活動を行った。緑は、東部だけにあると考えていた子どもは緑地公園や公園が名古屋の色々な場所にあることを知ったことで、緑地公園に緑や自然を感じることができると考えを改めていた。お寺や神社など古い建物が多いと考えていた子は、「歴史を感じるができる」「今も見ることができる」ことを書き加えて名古屋の特色を再考することができた。



【資料2】 交流後の子どもの意見

4 成果と課題

- 短冊を色分けすることで、どの立場で意見交流が行われているのかを明確にすることができた。また、イメージマップで関連することを矢印で結ぶことで交流の流れを可視化することができた。その結果、話の流れがわかり、関連した発表をすることにつながった。
- 子どもの発言をすべて黒板に貼ったために、黒板を見直して自分の考えを書く場面で子どもたちがどの短冊を使ったらよいか迷ってしまっていた。板書にまとめていくときに、取捨選択して必要な情報だけを分かりやすくまとめていくことが必要だったと考える。